

芸術・文化を語る

無料

徳島ゆかりの芸術家や文化人に専門分野の話をしていただき、心豊かな生き方について考えます。

定員 先着 80人

① 4/28(土)

人生を狂わす「本」との 出会い方

講師

三宅香帆

(京都大大学院生 / 書評プロガー)



1994年美馬市生まれ、高知県育ち。京都大学文学部卒業後、大学院で国文学を専攻する一方、天狼院書店スタッフとして働いている。2016年、同書店のウェブサイトに掲載した「京大院生の書店スタッフが『正直、これ読んだら人生狂っちゃうよね』と思う本ベスト20を選んでみた。」が年間総合はてなブックマーク数ランキングで第2位となり、17年『人生を狂わす名著50』(ライツ社)を出版した。

② 5/26(土)

「第九」アジア初演100周年 を迎えて

講師

長谷川純子

(鳴門市ドイツ館学芸員)



1976年兵庫県生まれ、大阪府育ち。京都市立芸術大学美術学部卒。イタリア・フィレンツェで文化財保存修復について学んだ後、京都造形芸術大学大学院で博士号(学術)取得。スイス政府奨学金を得てジュネーブ大学大学院で美術史の研究をしたあと、奈良の公益財団法人・元興寺文化財研究所で文化財保存処理業務に携わる。2016年7月、鳴門市ドイツ館の学芸員に就任した。

③ 6/23(土)

地域ブランドの作り方

講師

廣瀬圭治

(キネトスコープ社代表 /
アートディレクター)



1972年岐阜県生まれ。20代前半はバイクで全国を放浪。映像クリエイター、グラフィックデザイナーを経て、2003年に大阪でWEBデザイナーとして独立。12年、神山に移住しサテライトオフィスを開設。13年、デザインで森を蘇らせる「神山しずくプロジェクト」発足。間伐材で作ったコップや皿を商品化し、17年にグッドデザイン賞を受賞した。現在、徳島県のデザイン振興担当、NPOグリーンバレー理事。

④ 7/28(土)

脚本づくりのおもしろさ

講師

向井康介

(脚本家)



1977年三好市生まれ。大阪芸術大学映像学科卒。2007年「松ヶ根乱射事件」(山下弘監督)で菊島隆三賞を受賞。14年に文化庁新進芸術家海外研修制度で北京に留学。16年「聖の青春」(森義隆監督)で毎日映画コンクール脚本賞を受賞。17年には、咲くやこの花賞を受賞した。近作に映画「愚行録」(石川慶監督)、NHK土曜ドラマ「植木等とのぼせもん」など。

時間 14:00 ~ 15:30 (受付 13:30 ~)

場所 県立文学書道館 2階講座室

【申し込み方法】

下記の項目をご記入のうえ、はがき、FAX、メールのいずれかでお申し込みください。

当館1階受付でも申し込み可能です。

・芸術・文化を語る ・受講希望の番号と講師名 ・郵便番号 ・住所 ・氏名(ふりがな)
・年齢 ・電話番号(中止などの緊急連絡に必要ですので必ずご記入ください)

*全回受講もできます。

〈申し込み・問い合わせ先〉

徳島県立文学書道館

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1

TEL 088-625-7485 FAX 088-625-7540

メールアドレス kotonoha@bungakushodo.jp